



岡山県産業労働部観光課 副参事 ◆ 岡山大学法学部卒・法学研究科修士課程修了

小玉 健

K O D A M A T a k e s h i

岡山県庁に入庁して以来、
主に国際関係の業務に携わってきた。
現在は、外国人観光客誘致を担当。
岡山を海外に売り込もうと奮闘する。

- ▶ こだま たけし (45歳)
- 昭和43年 岡山市生まれ
- 昭和62年 岡山大学法学部入学
- 平成3年 岡山大学大学院法学研究科入学
- 平成6年 岡山県庁入庁
- 平成10年 知事室 公聴広報課
- 平成14年 自治体国際化協会 (CLAIR) 東京本部
- 平成15年 自治体国際化協会 (CLAIR) シドニー事務所
- 平成17年 企画振興部 国際課
- 平成20年 産業労働部 産業企画課 (経済国際化推進班)
- 平成22年 美作県民局 税務部 収税課
- 平成24年 総務部 税務課 (特別徴収班)
- 平成26年 産業労働部 観光課 (海外誘客班)



シドニー事務所時代▶

先導的な取り組みをし
ている同国の視察を希望する自
治体をサポートしたり、岡山県と
姉妹提携を結ぶ南オーストラリア
州に、県関係者が訪れた際にガイ
ドするなどしました。海外での出
会いや経験が、今の自分の糧にな
りました。

ある同国ですが、実は砂
漠が広く、緑があるの
は沿岸部に限られて
います。貴重な自然
を後世に残すため
ごみの削減、エコ
ツーリズムなど、環
境保全に力を入れて
います。

本部 (東京) での勤務を経て
2003年から2年間、オースト
リアのシドニー事務所にいまし
た。自然豊かなイメージの

糧になった海外勤務
学生時代、法律を学んでいた私
が、県庁で「国際畑」を歩むよう
になったのは、一般財団法人「自
治体国際化協会」(CLAIR)
への出向が大きなきっかけになっ
たと思います。

視察で県に訪れた海外の旅行
業者、観光担当者らの案内も行っ
ているのですが、思いがけない反
応が返ってくる場合があります。
先日、チュニジアの国家観光局

郷土の魅力を見
観光で県に訪れた海外の旅行
業者、観光担当者らの案内も行っ
ているのですが、思いがけない反
応が返ってくる場合があります。
先日、チュニジアの国家観光局

観光で関心を持つポイントも、
各国で異なります。例えば、中国
東南アジアの方は、果物狩りが
好きなので、桃狩りができるこ
とをアピール。欧米の方は歴史
的なものを好む傾向があるので、
伝統工芸や祭りを紹介するなど、
それぞれに合った売り込みをし
ています。

「OKAYAMA」を海外に
出向以降は、国際課や産業企
画課経済国際化推進班など、海
外に携わるさまざまな業務をし
てきました。4月からは観光課
で、外国人観光客の誘致を担当
しています。

私の役割は「変圧器」になるこ
とだと考えています。電圧は日本
と海外で基準が異なるため、変圧
器がなければ故障してしまいます。
それと同じで、海外からのニーズ
に耳を傾けたり、逆に岡山の売り
を外国人に分かるように伝えるな
ど、双方を調整するのが、私の仕
事です。これからも岡山と海外を
円滑につなぐための一助になりた
いと思います。

の担当者から倉敷・美観地区の感
想を聞いたところ、「観光地なの
に、落ち着いた雰囲気は保たれて
いる」と驚いていました。他国の
観光地は大勢の観光客が集まると
どうしても雑然とした印象になる
とのことでした。「海外の目」を
通して、郷土の魅力を再認識した
り、新たな発見ができるのが、こ
の仕事の醍醐味です。



チュニジア国家観光局の担当者に説明する小玉さん▲

岡山と海外 つなぐ一助に



■岡山県庁
所在地：岡山市北区内山下2丁目4番6号
事業内容：産業、観光、文化など。岡山県の
各種施策の企画・許可事務ほか
職員数：24,862人 (平成26年4月1日現在)